

平成28年度地域包括支援センター 活動状況について

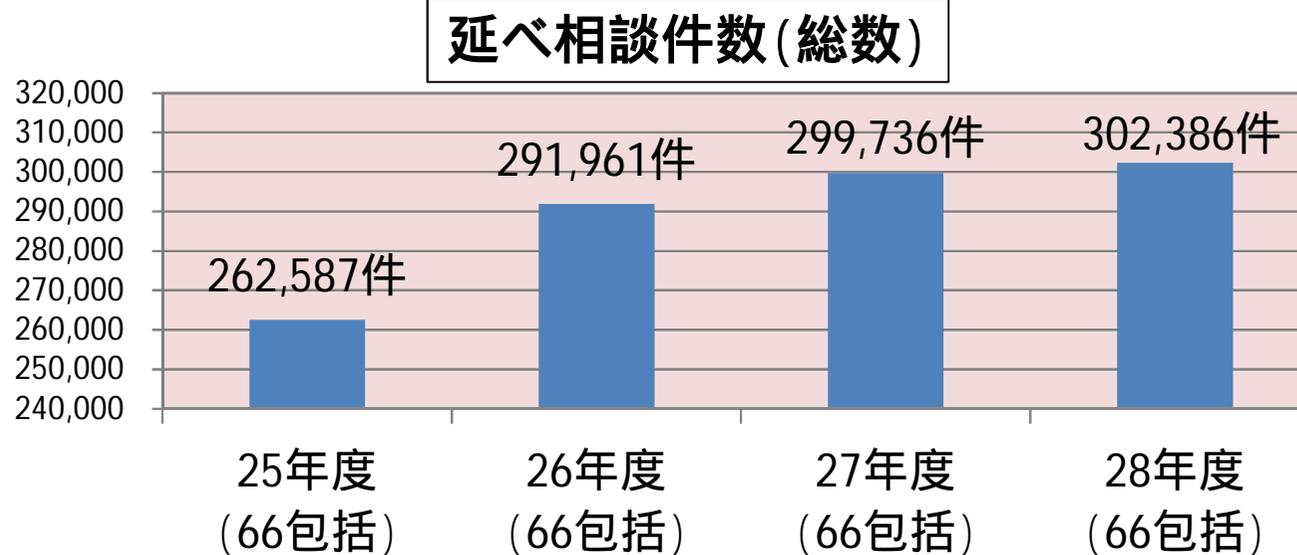
平成29年度第1回大阪市地域包括支援センター運営協議会
平成29年7月7日(金)

大阪市社会福祉協議会 地域福祉課

(1) 高齢者の総合相談(包括)

- 1 延べ相談件数

- ・平成28年度の延べ相談件数(包括1カ所あたりの平均)は平成27年度の件数とほぼ同じ件数である。



述べ相談件数が多い包括

- ・鶴見区
- ・東住吉区
- ・旭区東部
- ・西成区

述べ相談件数の伸び率の高い包括

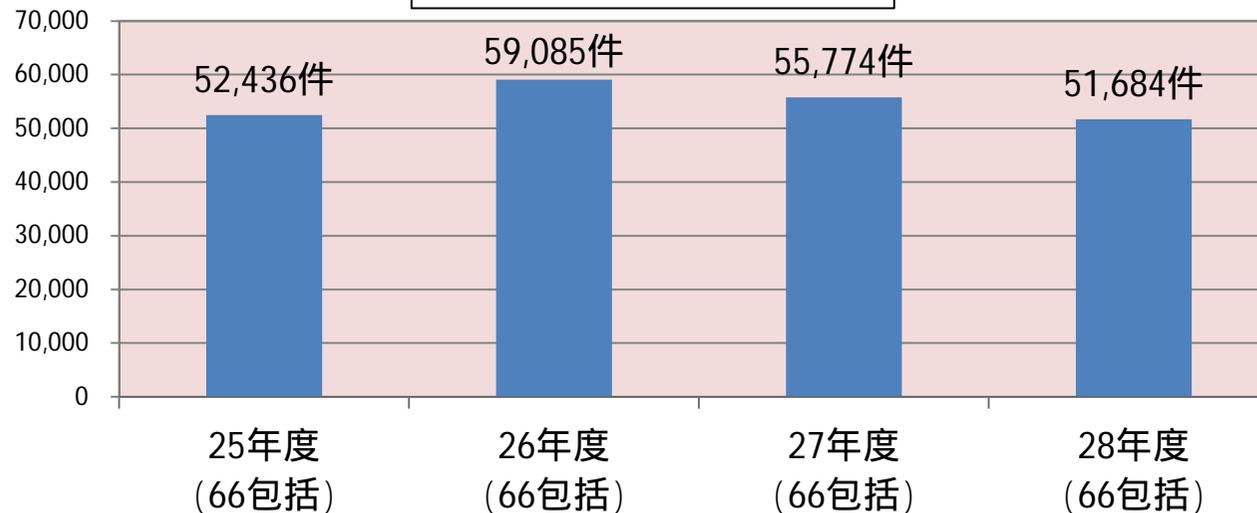
- ・阿倍野区中部
- ・東成区南部
- ・此花区

(1) 高齢者の総合相談(包括)

- 2 相談実人員

・相談実人員は若干減っている。包括単位で見ると増えている包括もある。

相談実人員(総数)



高齢者人口に占める相談実人員の割合が高い包括

- ・鶴橋(13.1%)
- ・住之江区(10.5%)
- ・西成区北西部(10.4%)

相談実人員における訪問相談の割合が高い包括

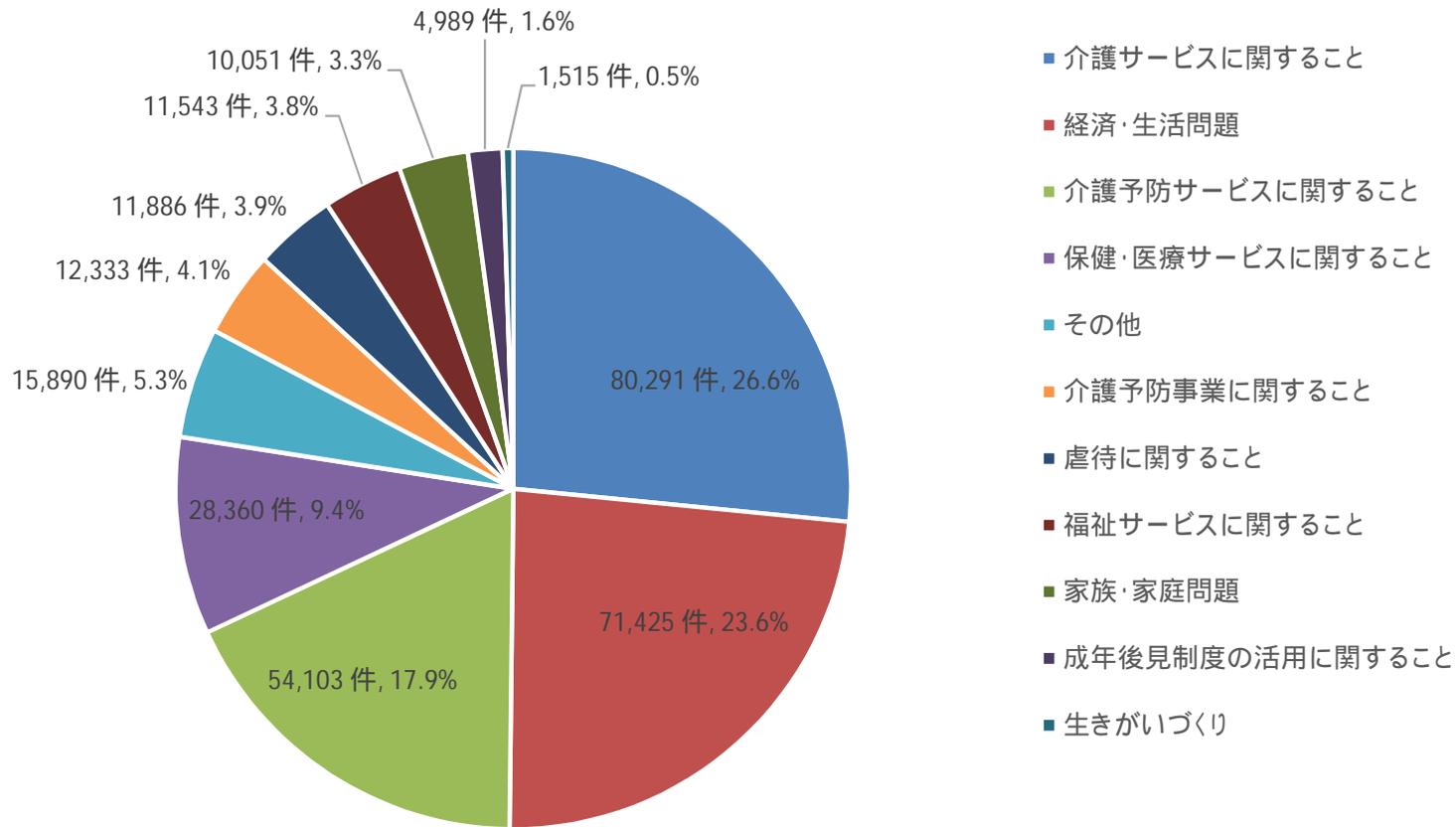
- ・西淀川区(56.7%)
- ・さきしま(56.5%)
- ・東淀川中部(55.8%)

(1) 高齢者の総合相談(包括)

- 3 総合相談内容(平成28年度)

・前年度に比べ「介護サービスに関すること」が増えており、「介護予防事業に関すること」が減っている。

総合相談内容(平成28年度)



(1) 高齢者の総合相談(包括)

総合相談件数からの考察

- ・前年度と比較し、約6割の包括で相談件数が増加している。
- ・相談実人員の約4割が訪問による相談となっている。
- ・相談件数の多い包括では、地域福祉コーディネーターや地域の見守りボランティアなどと定例の話し合いの場を持つことで地域住民から相談があがりやすい取組みをおこなっている。
- ・地域課題に基づく取組みをおこなった結果、相談件数が増えることにつながっているところもある。

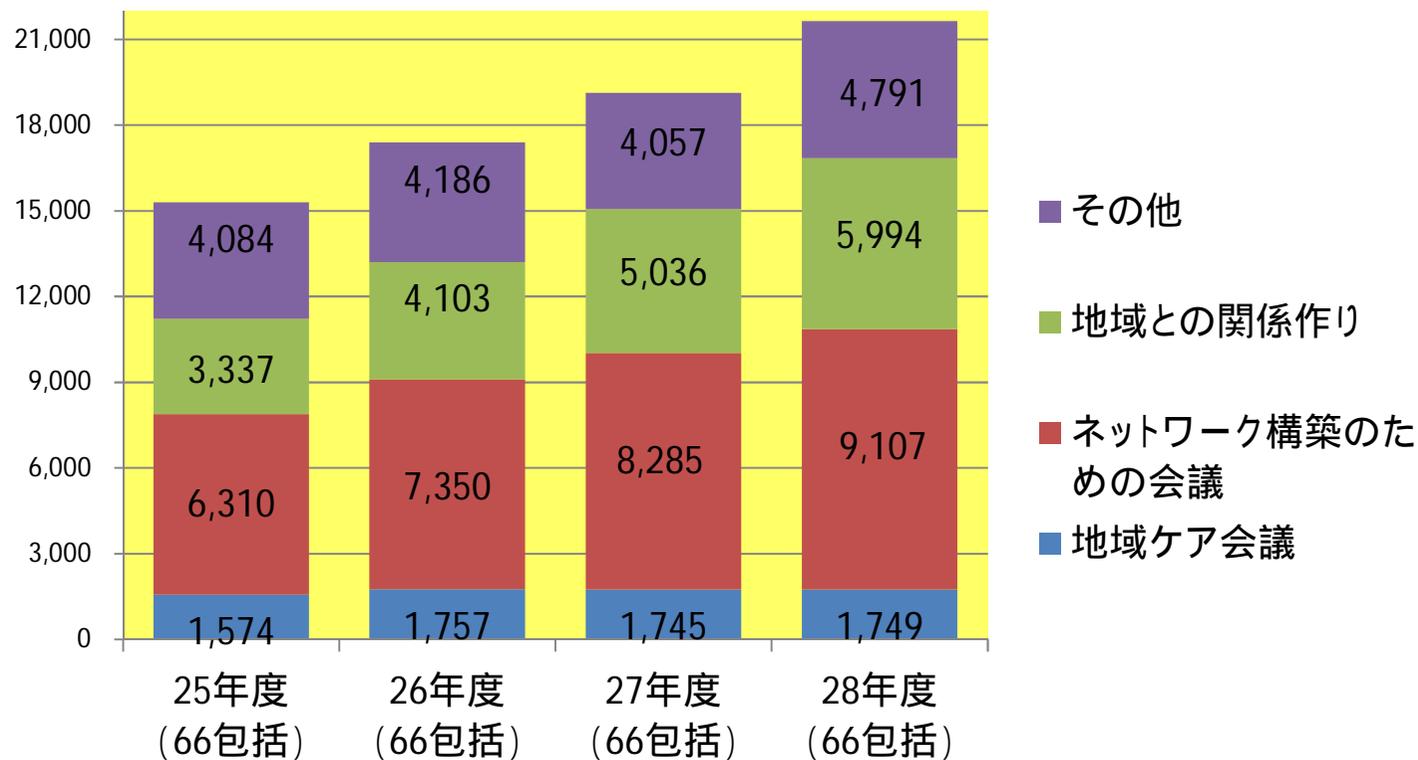
民生委員への精神障がいについての学習会
地域福祉コーディネーター等と介護支援専門員の
交流会

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 1 会議開催・参加状況

- ・会議開催の総数も年々増加しており、地域との関係づくり、ネットワーク構築の会議で増えている。

会議開催数(総数)



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

- 2 会議開催・参加状況(地域ケア会議)

1. 個別ケース検討の地域ケア会議

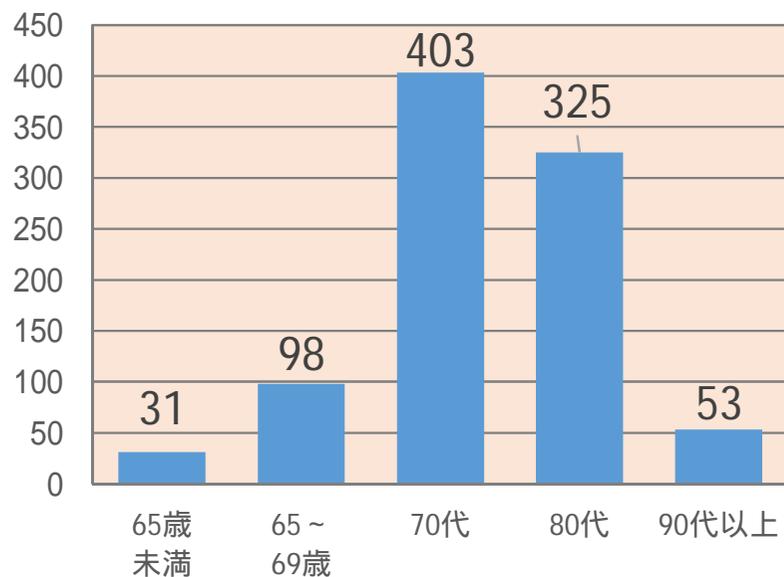
開催回数
1317件

- ・個別ケース検討の地域ケア会議では、継続した支援の中で、支援経過の確認や危機介入の時期の検討など、モニタリングの地域ケア会議も開催されている。
- ・他機関(見守り相談室、障がい者相談支援センター等)の主催する会議への参加が増えており、相談機関同士の連携につながっている。
- ・個別ケース検討の地域ケア会議開催の多い区
 - ・旭区東部(36回)
 - ・東成北部(34回)
 - ・西区(29回)

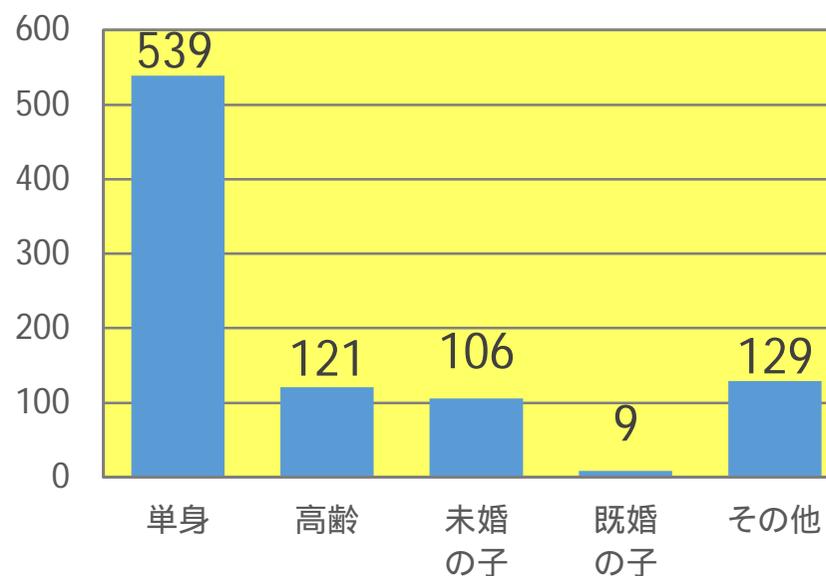
1. 個別ケース検討の地域ケア会議(内訳)

- ・実人員一人あたりの開催回数 平均1.4回
 - ・認知症あり 83.3%
- 単身の認知症高齢者の事例が多いことがうかがわれる。

地域ケア会議(年齢別)

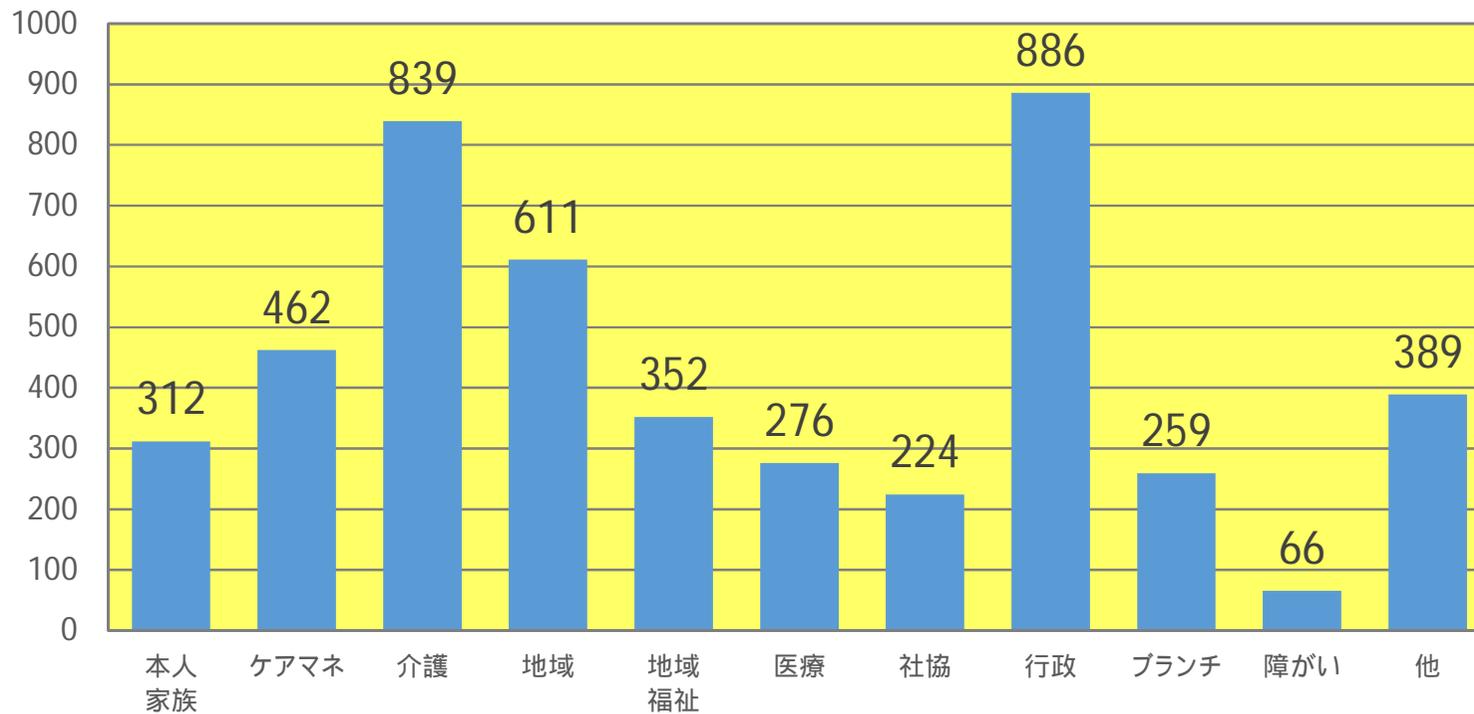


地域ケア会議(世帯状況)



1. 個別ケース検討の地域ケア会議(内訳)

地域ケア会議(会議参加者)



(注)

地域 : 地域住民

地域福祉 : 旧ネットワーク推進員、地域福祉コーディネーター等

社協 : あんしんさぽーと、生活困窮者自立支援相談窓口等

2. 事例検証・ふり返りの地域ケア会議

開催回数
126件

- ・開催形態としては、「地域ケア会議のレビュー会議として、スーパーバイザーを招いて実施している」「年度の特徴的な事例を取りあげ、小地域ごとにスーパーバイザーを招いて検証している」などがある。
- ・支援者や関係者のスキルアップにつながっている。
- ・地域課題の集約につながっている。

事例検証・ふり返りの地域ケア会議の開催数の多いところ
西区(28回)

3. 見えてきた課題のまとめの地域ケア会議

開催回数
306件

- ・個別支援の地域ケア会議から見えてきた地域の課題を集約し、共通した課題をまとめ、地域の関係者に報告し、取組みを検討していく会議。
- ・包括支援センター圏域内の小地域ごとに開催する包括も増えてきている。

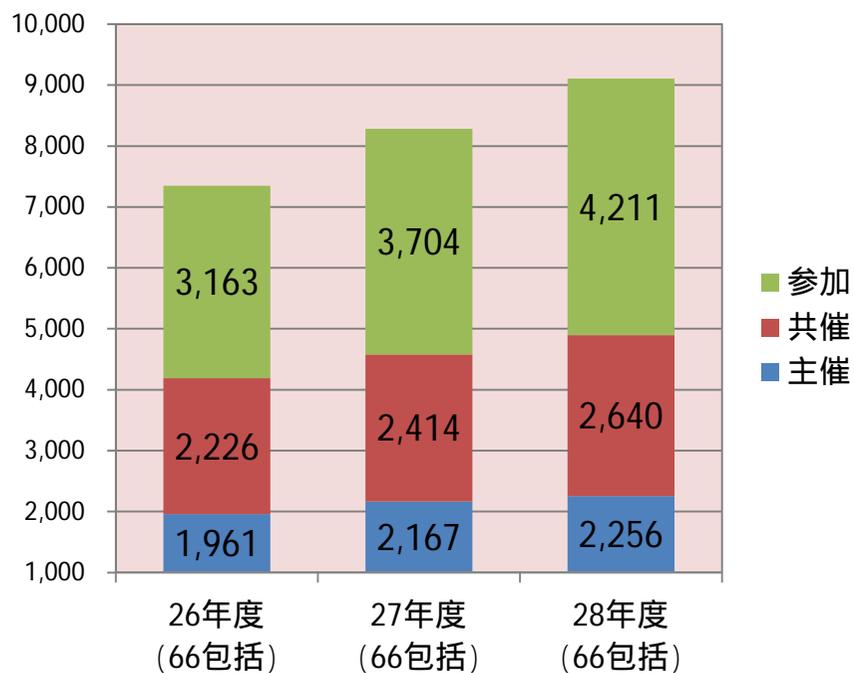
見えてきた課題のまとめの地域ケア会議の開催数の多いところ
淀川区(46回) 東生野(31回)

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

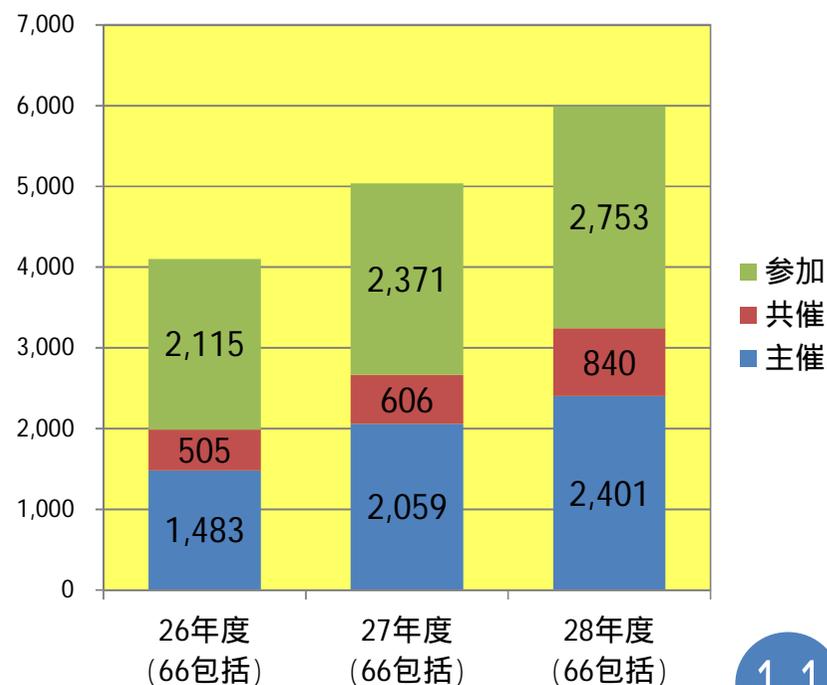
- 3会議開催・参加状況(その他NW構築・地域との関係づくり)

- ・その他NW構築の会議が10%、地域等との関係づくりに関する会議が19%増えている。

その他NW構築のための会議



地域との関係づくり



(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

会議開催・参加状況についての考察

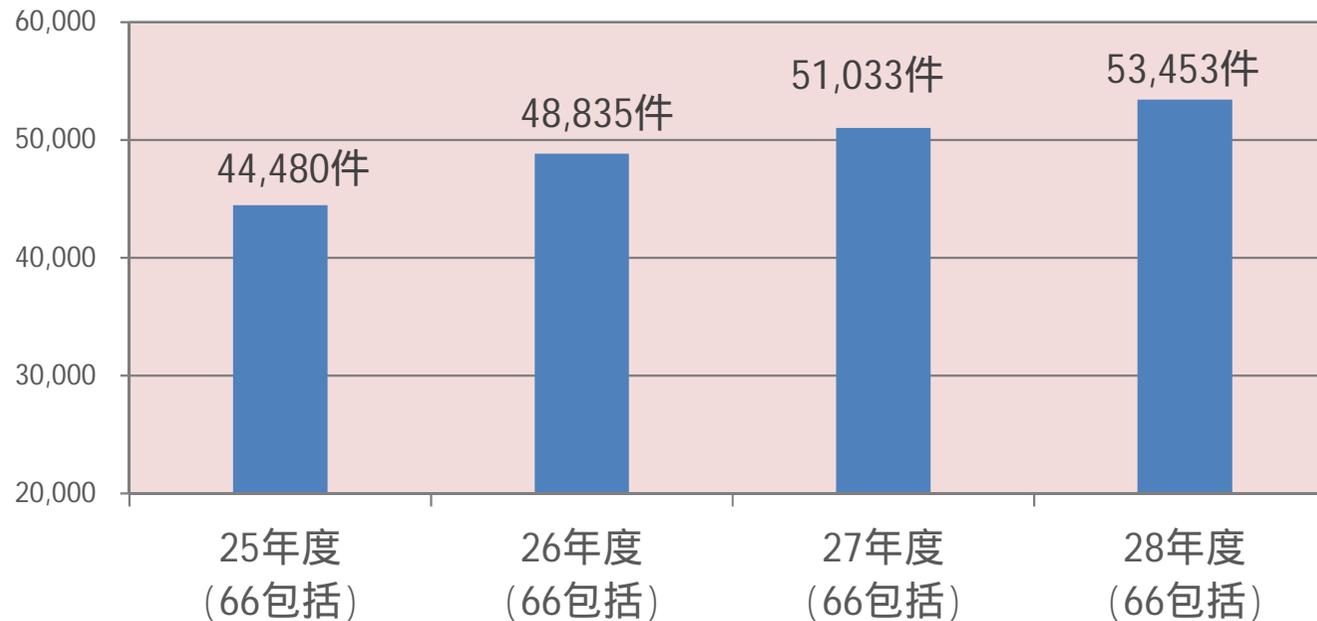
- ・会議開催の合計数は、平成27年度に比べ約13%増加。
- ・NW構築の開催数も増えており、参加も増えている。
町会や民生委員の会議に定例で参加することで連携を深め、相談につながりやすい関係づくりに繋げている。
- ・広く一般の方が立ち寄る郵便局、病院、コンビニ、喫茶店などに訪問して周知活動を行うことに加え、スーパー等での出張相談を行っている包括もある。
- ・認知症カフェや2次予防事業修了者の方向けのつどいの場づくりに取り組み始めている。
団地における見守り活動を兼ねたつどいの場
男性のつどいの場

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント

介護支援専門員への支援

- ・介護支援専門員個別相談件数は増加している。
件数が増えている包括は、同行訪問をする、その後の進捗確認を行うなど丁寧な関わりをしている。

介護支援専門員個別相談件数(総数)

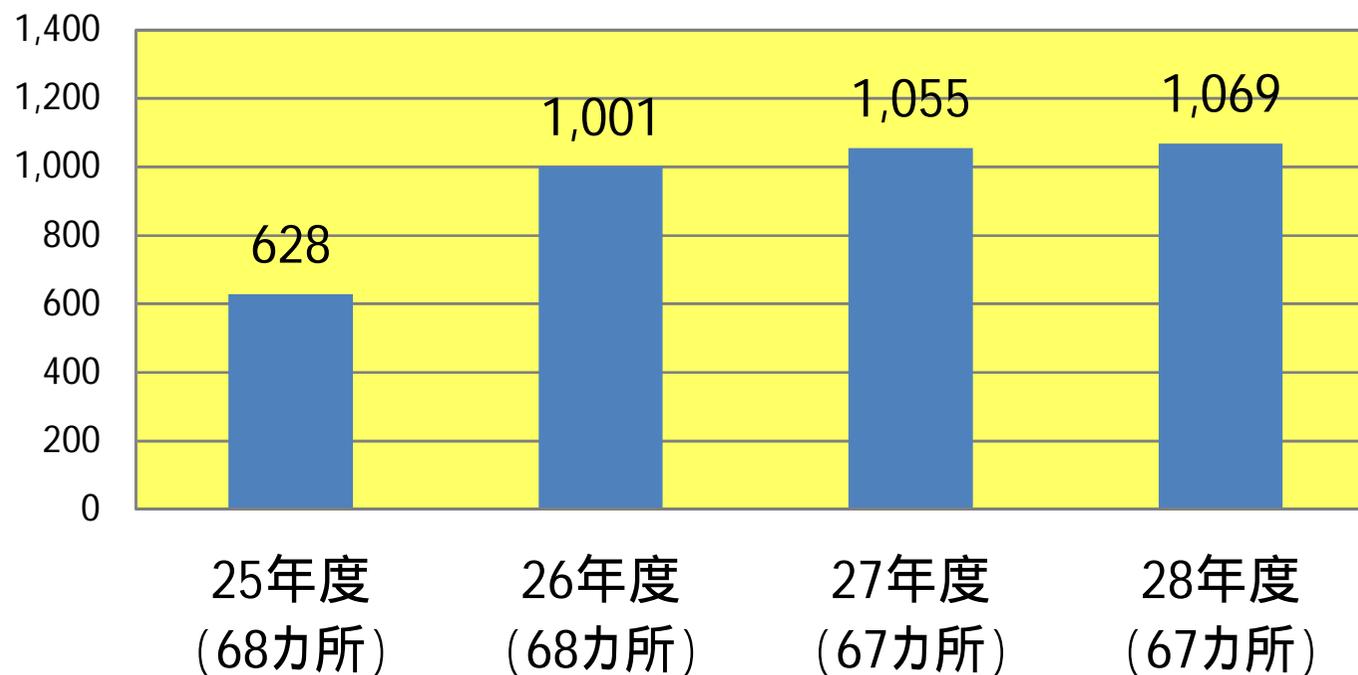


(3) 総合相談窓口(ブランチ)

延べ相談件数

- ・平成25年度より相談員の1人配置移行にともない、ブランチ1カ所あたりの延べ相談件数は増加し、一定の相談件数を保っている。

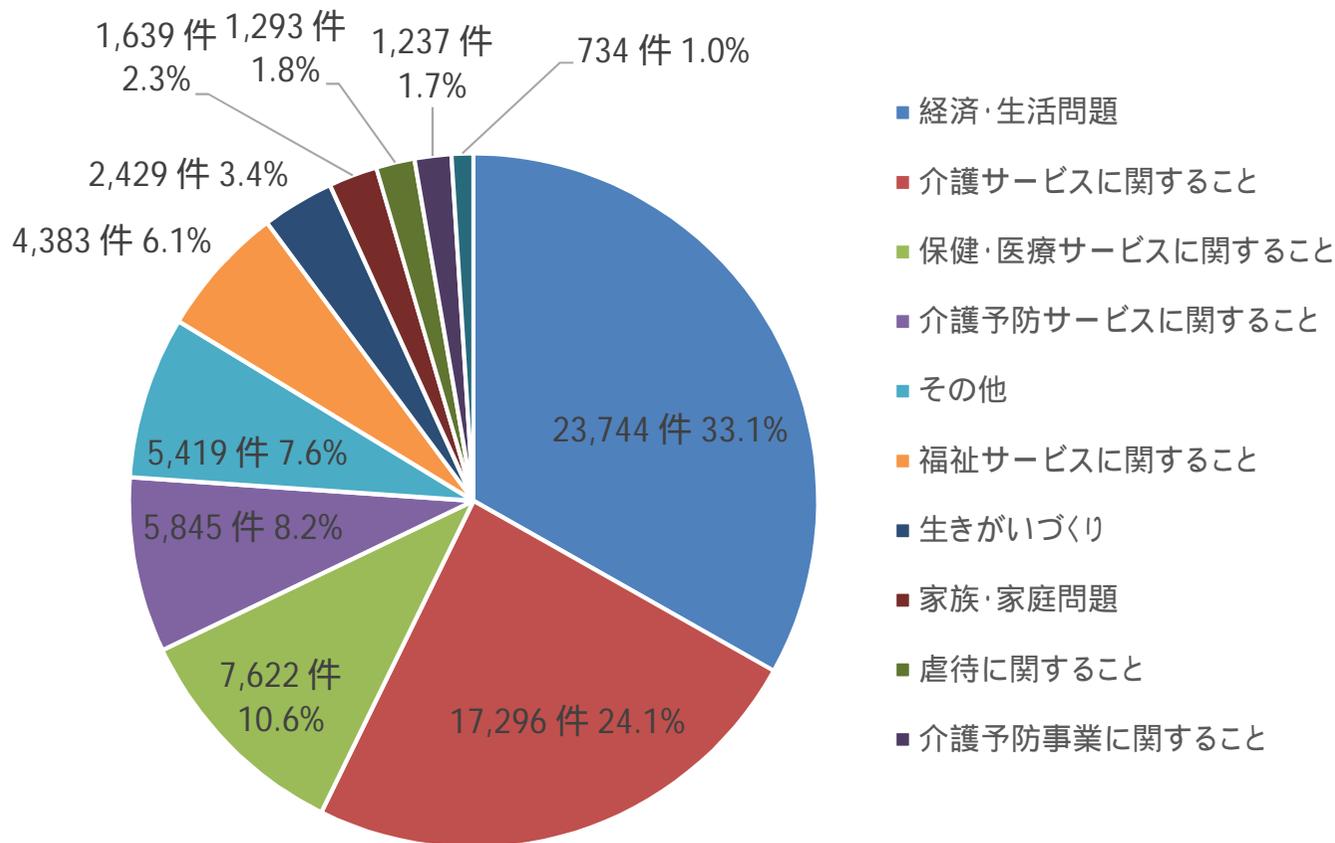
延べ相談件数(1ブランチあたり)



(3) 総合相談窓口(ブランチ)

総合相談内容(平成28年度)

延べ相談件数の内訳



～ 包括連絡調整事業における実績分析について～

市内の包括では地域の実情に合わせた様々な取組みがすすめられている。

各包括における取組みについて、訪問による聞き取りなどを行いながら実績とも交えて考察し、包括・ランチに参考としていただけるように内容をフィードバックしていく。

今年度も更なる包括の取組み・実績の
把握に努めます。

大阪市社会福祉協議会 地域福祉課